

落語と人権学習会

1月24日(火) 10時～



講師：塚田拓司さん(芸名：由宇亭拓の輔)「障害者支援施設ひかりの里施設長」
美郷町浜原の出身で、アマチュア落語家として居住地の山口県で活躍されている「由宇亭拓の輔(ゆうていたくのすけ)」さんをお招きし、人権学習会を開催します。笑いの中から楽しく人権について学ぶ機会にいただければと思いますので、ぜひご参加ください。

第2回都賀行隣保館人権学習会をしました(11月22日)

講師に、太田明夫さん(ハンセン病問題を共に学び共に闘う全国市民の会)をお招きし、ハンセン病についてのお話をいただきました。ハンセン病問題について、ビデオ視聴を交えながら、他人事ではなく身近にあることとしてわかりやすくお話していただきました。「誰もが当事者100%」という意識を持ち、「壁は超えるな、壊して進め」という心構えが大事だということをお話していただきました。



♡ プチっと人権講座

♡ 一年間、ありがとうございました。

人権に関する色々なことを書かせてもらいましたが、人権を考えるきっかけに少しでもしていただければと思っております。先日、ある県の県会議員がSNS(ツイッターなど)へ「同性婚なんて気持ち悪いことは大反対!」などと書き込みをして批判をされ、離党せざるをえなくなり、次期立候補も断念とのニュースが流れていました。もちろん、このような発言が「多様性尊重の社会」において適切でないことは言うまでもありません。

しかし、このような発言をして離党に追い込まれることなどという事態は昔前には考えられない状況だと思えます。それだけ、多様性を認める社会の人権意識が徐々に高まっている証明でしょうか。

同性婚については各地で訴訟が提起され、「同性婚を認めない現行法の規定が違憲か合憲か」裁判所の判断も分かれております。

先月も東京地裁の判決があり、「同性婚を認めない現在の規定は違憲ではないが、同性カップルが家族になる制度が存在しないのは違憲状態で法律の整備が必要」との主旨が述べられています。

一昔前まで同性カップルは奇異の目で見られていましたが、「中性タレント」の活躍などにより、社会の違和感も薄れていき、次第に社会に受け入れられているのではないのでしょうか。同性婚についてはまだ、反対意見などいろいろなものがあります。

しかし、多様性尊重など社会の意識が変化していることも事実です。同性婚についても社会意識の変化に柔軟に対応して考えることが大事ではないでしょうか。皆さんはどうお考えでしょうか。

今年も一年間「プチっと人権講座」をお読みいただき、ありがとうございました。

< 1月の予定 >

- 5日 神楽面作り教室
- 12日 ニコニコ健康教室
喜楽会
- 16日 あみものクラブ
- 18日 昔の遊び(大和小1年生)
- 19日 ニコニコ健康教室
- 20日 俳句教室
- 21日 習字教室
- 24日 第3回人権学習会
講師：塚田拓司さん(落語：由宇亭拓の輔)
- 26日 森林教室

※18日予定の「昔の遊び」は、大和小1年生の学習で、昔の遊びを知り、体験することを目的としています。子どもたちと一緒に遊んでいただける方のご参加をお待ちしています。



フラワーパークフェスティバル(11月29日)

大和小5・6年生が、1年間の花壇作りのまとめとして、フラワーパークに設置する看板に、春と秋のデザインの絵を描きました。地域の方にもご参加いただき、子どもたちが描いている様子を見てもらい、インタビューの質問にも答えていただきました。

花壇付近に苗を植え、子どもたちが芽かきをしてくれたトウモロコシが大きく育ち、収穫できたので、今回は焼きトウモロコシにして食べました。子どもたちは「お祭りみたい♪」と嬉しそうで、フェスティバルらしい締めくくりとなりました。



< 相談事業 >

自分のこと、家族のこと、ご近所のことなど...悩みごとはありませんか。「人には言えない」でも誰かに聞いてほしい!!「どこへ相談すればいいの?」と思われるなら隣保館へご相談ください。不安に寄り添い、問題解決のためのお手伝いをします。他の機関とも連携していますので、安心してお越しください。訪問相談や電話で

大和中学校 大掃除と人権学習会

11月30日、大和中学校生徒と地域の方で人権学習会と隣保館の大掃除を行いました。はじめに、人権学習として館長が隣保館の役割や公民館との違い、差別をなくすためにはどうしたらよいか、子どもたちにどんな人になってほしいか...など、話をしました。その後グループに分かれて、地域の方にもご参加いただき、思ったことや感じたことを話し合い、発表しました。

大掃除では、隣保館の窓を綺麗に拭いていただき、ありがとうございました!

< 生徒の感想 >

- ・今もつらい思いをしておられる人がいる現実を知った。自分に何が出来るか考えたい。
- ・差別の心=雑草、その雑草をなくそうという考えがすごいと思った。
- ・気づかないうちに差別をしているかもしれない。見直していきたい。
- ・温かい心、優しい心で相手に接していきたい。





他の機関と連携して活動していることや、支援している施設など。訪問相談や電話による
のご相談も受け付けております。

